



2階には、オープンスペースのほかアジアンテイストの家具でまとめられた書斎が設けられている



天然石とひのきで作られたお風呂は温泉宿のような雰囲気を醸し出している



やわらかな照明やディスプレイなど、おだやかでゆとりとした時間が流れる空間づくり



大型の薪ストーブは実態に使用可能。あたたかな火を囲みながらの囲炉裏スペース



再生前すべてが傾斜だった二階部分は、天井を取り払い、一部を吹き抜けに変更。開放的になった空間に太い梁の架がオブジェのように映える



家づくりの番外編
展示場訪問

「ハウスランド社」の展示場
和の家「吉木」

古民家を再生する 二つのカタチ

住みやすく居心地抜群
和風モダンな住空間

もうひとつ、同社が手がけた古民家モデル住宅「和の家 吉木」が同じく筑紫野市内にある。レトロ・モダンをコンセプトとする「吉木」。懐かしくて穏やか、和の雰囲気はそのままだが、床には木の香あふれる無垢材を用い、壁や断熱材等には最新の機能を持つ自然素材を使用する。「ハウスランド社」は古民家ばかりを手掛けているわけではな



い。その多くは、和洋を問わず、様々な施主の想いを形にした新築の注文住宅だ。古民家再生は、同社の知識と技術力の裏付け。そして「若い世代を始め、古い価値感を愛し層が家づくりをする際の参考になれば」と、古民家の良さを今に伝えている。



和室の一角には懐かしい雰囲気があふれる文机スペースが

古いものを壊して新しく建て替えるのは簡単だが、連続と続いた歴史や時間の流れが断ち切られてしまう。だから三上さんは「住み継ぐ、という考えを大切にしたい」と信念を持つ。

「壊れたところ、悪いところは直せばいい。風の流れ、通り道。自然や四季が美しく見える場所。日本の気候を熟知した職人が建てた昔の家には、データや数値では表せない居心地のよさがある。春夏秋冬を優しく体感できるスローライフを、今後も提案していきたいですね。」

古きよき日本の伝統建築を、和洋融合のスパイスで新しいテイストに再生した「風のくら」、モダンで洗練された空間に現代の技術を取り入れ住みやすさを提案する「和の家 吉木」。古くて新しく、懐かしくて新鮮。これからの家づくりのヒントが随所にあふれる二つの古民家スペースを、のんびり訪れてみてはいかがだろうか。ゆるやかに時が流れる穏やかな空間に身を浸し、先人たちが残した伝統に触れることで、私たち日本人のDNAが、受け継ぐべき何かを感じ取るかもしれない。

COMPANY DATA

株式会社 ハウスランド社

福岡県春日市天神山2-83

連絡先
TEL 092-593-2220

HPアドレス
www.h-land.jp

ここで紹介した 展示場は...

古民家再生モデル住宅
和の家「吉木」

福岡県筑紫野市大字吉木344-1

連絡先
TEL 092-922-8771

HPアドレス
www.h-land.jp



株式会社 ハウスランド社
代表取締役社長
建築プロデューサー
三上 信比古さん
Nobuhiko Mikami

「日本古来の伝統建築が持っている素晴らしい個性を生かすのが「古民家再生」。新しい時代に生まれ変わった姿を目にし、日本の住まいのあり方をじっくり考えて欲しいですね」